

-----6月18日-----

※ 今週のアウトルック(6/18~6/22)

先週はギリシャ選挙を控え、動きづらい展開となりました。週半ば、一時的に楽観ムードが広がったものの長続きはせず、金曜日には再び少し円高気味に推移して週末を迎えています。

今週はギリシャ総選挙の結果を受けて、市場がどう反応するか難しいところだと思います。緊縮財政を受け入れる方向で決着がついた場合は、素直に円安に反応しそうですが、そうではない場合は、一時的に大きく売り込まれるのか、それとも織り込み済み感から、イベント終了合図に円安が進んでしまうのか、判断が難しいところのように思います。いずれはギリシャのユーロ離脱が既に織り込まれていると考えた場合、ユーロ売りはそれほど続かないのかもしれませんが。

ドル円は、NYダウが持ち直してきたものの、ドル円への連動性はあまり見られていないようです。当面は78円から80円付近で、レンジ的な動きをする可能性が少し高くなってきたのかもしれませんが。

ドル円の予想レンジは78.5円から80円です。

ユーロはギリシャ選挙後織り込み具合が、月曜日のロンドン市場で有る程度確認できそうに思います。ただ、乱高下的な動きも予想できるため、早々に決めつけてしまうのは危険かもしれません。また、週前半の動きと週後半の動きが相反するパターンも想定できるため、今週は動きを予想することが非常に難しい週になってしまうようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは95円から102円です。

先週のポンド円は、反発のエネルギーを十分に蓄えているような印象を受けます。ユーロの動きがある程度安定すれば、一気に大きく反発する可能性もあるように思います。

ポンド円の予想レンジは121円から127円です。

今週は、ギリシャの選挙後の解釈に大きく左右されそうですが、特に理由なく、乱高下的な動きをすることも想定できるため、気が抜けない週となるかもしれません。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。